



足立区教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

足立区立西伊興小学校

校長名 金田 耕一

取組1 ESD-SDGs 教育



「未来につなげよう！わたしたちの西伊興」

社会科、理科、総合的な学習の時間等で、獲得した資質・能力を活用し、持続可能な開発目標（SDGs）を意識した授業を行う。その中でも、持続可能な開発目標（SDGs）の観点を、教科・領域の年間指導計画をもとに「持続可能な開発のための教育に関する計画」を作成し、児童が探求的な見方・考え方を働かせ主体的に考え、現在の諸課題を追及する活動を通じて、社会に積極的に参画したり、貢献したりする資質・能力を育成する。

児童が地域への愛着をもてるようにするとともに、獲得した資質・能力を各教科及び領域で活用する「未来につなげよう！わたしたちの西伊興」を行い、持続可能な開発目標（SDGs）を理解し、実現に向けた未来思考を地域や保護者へポスターやリーフレット等で、発信する。



取組2 日本の伝統・文化理解教育

国際理解、情報、環境問題、地域や伝統文化、ボランティア活動など学校の特色に応じた教材を扱う。実社会・実生活、各教科等と関連付けながら課題を解決する学習活動の展開を図る。

特に落語、書写、俳句、特産物（千住ネギ）体験を通じて、日本の伝統文化に触れる学習を全学年で教科横断的に行い、先人の知恵や生き方にふれることで、自国の成り立ちや在り方への関心を高め、国際人としての資質を養い、日本人としての自覚や誇りを図る。



取組3 個別最適な学びの実現

児童一人一人の可能性を生かし、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる。また、問題解決的な学習の充実を図り、協働的問題解決のために必要な思考力・判断力・表現力等の向上を目指す。個性を生かす授業を推進しながら、タブレットなどのICTを活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。

SP表やAIドリル等の分析結果から各児童の課題を捉え、ICT等を活用した個別最適化な学びを実践する。GooglemeetやGoogleフォーム等を活用し、児童の学び方や感染状況に応じて、授業形態を選択できるようにする。